

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

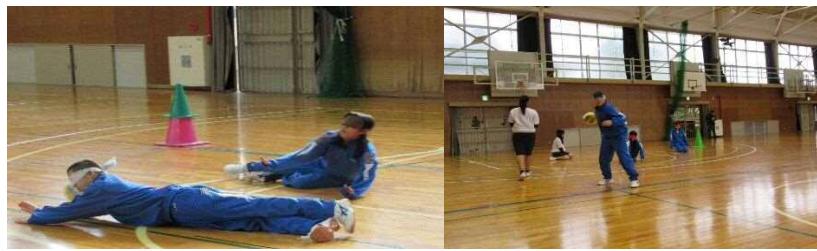
事業実施報告書

I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名 【愛知県立宝陵高等学校】

1 実践テーマ	【I・V】									
2 実施対象者	宝陵高等学校 第1学年1組 40名 第1学年2組 27名 合計 67名									
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()									
4 目標 (ねらい)	・ オリンピック・パラリンピックについての歴史やそれぞの意義、価値について理解を深める。また、パラリンピック競技の体験を通して2020年東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高める。									
5 取組内容	<p>1 事前学習(1時間) オリンピック・パラリンピックの基礎的な知識を理解する。 ① それぞれの意義や歴史、東京開催になるまでの経緯 ② パラリンピックの価値や競技の特徴 映像(東京オリンピック・パラリンピック招致映像、決定の瞬間、リオパラリンピックダイジェスト)やPowerPoint等を使い、それらについて歴史や開催に至るまでの経緯を知る。</p>   <p>2 競技体験(2時間) パラリンピック競技を体験する。※指導者：本校体育科教員 ① ゴールボール <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 33%;">【チーム数】</th> <th style="text-align: center; width: 33%;">【試合形式】</th> <th style="text-align: center; width: 33%;">【試合時間】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1組：10チーム</td> <td style="text-align: center;">1組：4人対4人</td> <td style="text-align: center;">5分</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2組：9チーム</td> <td style="text-align: center;">2組：3人対3人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </p>	【チーム数】	【試合形式】	【試合時間】	1組：10チーム	1組：4人対4人	5分	2組：9チーム	2組：3人対3人	
【チーム数】	【試合形式】	【試合時間】								
1組：10チーム	1組：4人対4人	5分								
2組：9チーム	2組：3人対3人									

【控えているチーム】
得点・実況係、ボール係



② シッティングバレー

【チーム数】

1組：6チーム

2組：4チーム

【試合形式】

1組：6人対6人

2組：6人対6人

【試合時間】

5分

6分



主な成果

【アンケート結果より】

○生徒のパラリンピックに対しての興味・関心が高まった。

- 以前から興味があった生徒は全体の 15.4% にとどまっていたが、事前学習と実技体験を通して興味・関心をもったという生徒が 97% まで増えた。
- パラリンピックを観たくなった割合も全体の 92.5% であった。

○生徒のパラリンピックへの知識・理解が深まった。

- 事前学習と実技体験を通して知識・理解が深まったという生徒が 98.5% であった。

※『思う-ややそう思う-あまりそう思わない-思わない』で回答

【感想より】

○知識・理解が深まっただけではなく、実際に関わってみたいと感じる生徒やパラリンピアンの凄さを感じる生徒が多くいた。

- 実際にボランティア等に参加したりして、もっと興味を持てたら良いと思った。

- 2020 年の際には観てみたいと思った。
- 挑戦することが大切だと思った。
- 他の競技もやってみたいと思った。
- 実際にやってみて改めて凄いと思った。等

7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>【事前学習】 写真や動画などを多く用いて視覚に訴える工夫をした。</p> <p>【実技体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ゴールボール <ul style="list-style-type: none"> ・専用のボールがなかったためゴミ袋をボールにまいて使用した。 ・ルールを簡易化して実施した。 ②シッティングバレー <ul style="list-style-type: none"> ・ラリーが続くよう、ソフトバレー ボールを使用した。 ・正規のコートよりも狭めて実施した。 <p>【事後学習】 アンケートを実施</p>
8主な課題等	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習（1時間）の中で『パラスポーツ』について学習をしたがパラリンピックの意義や歴史背景なども深く学習するべきだと感じた。 <p>【実技体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両競技とも教員が初めての実施であるために、競技の特性・注意点等が生徒に徹底できなかった。 ・ゴールボールは1度に実施できる人数、コートに限りがあるので十分な活動量を確保できなかった。 <p>【事後指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事後指導が不十分なためパラリンピックへの関わり方などを説明できなかった。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降も継続して体育理論の授業の中でパラリンピック種目の実践を行なっていきたい。 ・パラリンピアンを招きたい。